りつめい

題字・末川博名誉総長

April 2004

Ritsumeikan University Alumni Association

Rits 立命館大学

No. 216

立命館大学校友会報

Special #1 [特集 1]

All Rits Networkの船出にあたって

Special #2 [特集 2]

わが国有数の理工系教育研究拠点へ

2004年4月 情報理工学部開設、理工学部新学科設置

輝くひと brilliance 49

私と係わったことで立ち直ってくれたらとても嬉しい。

石川 梨枝さん（'01院法）

大阪地方検察庁検事

立命館大学 校友会報
Ritsumeikan University Alumni Association, APRIL 2004 **No.216**

りつめい

表紙の人

石川　梨枝 さん　（'01院法）
R i e l s h i k a w a

大阪地方検察庁公判部検事として、現在およそ100もの事件を担当している。刑事裁判で、テレビドラマの法廷シーンに登場する検察官の姿ほぼそのままに、起訴状を読み、証拠を提示し、尋問し、その被告人が事件を起こしたのだと立証していく。東京・大阪など規模の大きな検察庁には、捜査を行う刑事部が別にあり、現在の仕事はもっぱら公判遂行である。

「被告人に反省の色がなく、許せないと思ったら、裁判の場で厳しく追及することもあります。せめぎ合う中で被告人が自分の罪を認め、更生の方向に踏み出してくれれば、結果として社会の秩序維持にもつながりますから、自分の仕事の意義は大きいと思います」。

2000年、法学研究科2回生の時に司法試験に合格。学生時代には主に民事法を研究していたのだが、検察官の道を選んだ。「修習をしてみて、自分の正義感を一番素直に出せるのは被害者の側に立つ検事だとわかりました。それに、捜査をして、この人は犯人ではないと思ったら釈放するのも検察官。人の権利を守るための最初の位置にあるのです」。

調書に目を通しながら、ため息が出ることがある。「どうしてこんなに犯罪が多いのかな、と。本当は私たちが暇で仕方ない世の中のほうがいいわけで…」。そしてその背景にある社会の暗部や、人間模様の悲しさに戸惑いもする。

しかし根本的には人が好きで、それぞれの生き様を見据えられるからこそ、事件の洪水に立ち向かっていけるという。意外にもと言っては失礼だが、それ抜きの生活は考えられないというほど漫画を愛し、小説もよく読む石川さんだけに、疑似体験ながら様々な人生を垣間見ているのも強みなのだ。

立命館大学のカラーにも助けられた。「逞しさや気骨が染みついたことがよかった。いろんな人がいたので、全部を経験するのは無理でも、社会の隅々にまで視野を広げてみようという気にさせてくれる大学でしたね。それから、正課でもエクステンションの授業でも、とてもよく面倒を見てくれたし（笑）」。

母校の法科大学院で学ぶ後進へ一言。「勉強ばかりせずに、人間を知ろう。雑草のような力がとても大切」。小柄な身体から生気が溢れ出ていた。

（1月16日取材　写真・小幡　豊　文・寺田直子）

CONTENTS

1 **輝くひと**　石川梨枝さん

Special #1 特集1
3 **All Rits Networkの船出にあたって**
インターネット座談会「立命人よ手をつなごう」
APU学生によるIntercultural Sports Event

8 **RITSUMEI INTERVIEW**
郷土奄美を愛し、夢を追い、夢を食う
渡　博文さん

10 **キーワードから見る現代**
地上デジタル放送
西村俊和理工学部助教授

12 **立命館あの頃**
1975年～1985年頃（昭和50年代）その2

14 **おじゃします**
岡山県校友会の巻・京都春風会の巻

16 **この一点**
「西園寺公望　行厨」六角紫水・作

17 **自由席**

18 校友会ネットワーク

19 朗報続く！立命館スポーツ

20 立命館ファミリーカードコーナー

Special #2 特集2
22 **わが国有数の理工系教育研究拠点へ**
2004年4月 情報理工学部開設、理工学部新学科設置

25 キャンパストピックス
26 学生のスポーツ＆イベント・定年退職教職員紹介
28 INFORMATION

All Rits Networkの船出にあたって

立命館大学および立命館アジア太平洋大学（APU）をこの春ご卒業の皆さん、
そして、附属校から巣立たれる皆さん、おめでとうございます。

立命館大学校友会は、立命館学園内の各大学・学校とその卒業生(校友)が持つ
多様な個性と力の連携を目指しています。
それが学園の、そして校友それぞれの活力アップにつながると
信じるからです。
国際色豊かになり、魅力が増した立命館ネットワーク。
あなたも、ぜひ加わって、力を発揮してください。

APU校友会 ―国際的な新しい極の誕生

井辻● いよいよAPUからも多数の卒業生が出ることになり、おめでとうございます。我々の仲間がそれぞれの持ち味を生かしつつ、多様なスタイルで拡大しつつあることを嬉しく思っています。従来立命館大学校友会と各附属中学・高校の同窓会とは、つかず離れずの間柄を保ってきているのですが、APU校友会という新しい極の誕生を受けて、学園内各校友会の連携について、これはもちろん大学・学校との連携も含めて申し上げているのですが、真剣に考えてはどうかと思います。今回は、オール立命館連携の夢など、自由に語りあうことにしましょう。まずは竹本さん、APU校友会会長として、抱負などをお聞かせください。

竹本● 昨年早期卒業した私たち七名で発足したAPU校友会に、この度五〇〇名の仲間を迎え、とても心強く思います。このAPU校友会を、在学生も含めたAPU関係者全員の心の拠り所にできれば理想的です。APUで、ある意味で特殊な学生生活を経験した者として共有できるものが何かきっとあるはずです。それを共有し続けられる場所、APUの延長線上に自然に存在するものだと、皆が自ずと感じられる場所にしていけたらと思います。フレッシュなAPU校友会に立命館大学校友会の歴史と伝統を融合できれば、立命館大学校友会とはまた趣の異なった会ができるでしょう。各々の校友会相互だけでなく、立命館学園全体の活性化に寄与できればよいと思っています。

井辻● 大山さんはAPUの今春の卒業生としていかがですか。

大山● 僕は入学当初から、機会をつくって立命館大学の学生の皆さんや校友の方々、先生方とも交流してきました。その中で感じたのは、「立命館」アジア太平洋大学であるということでした。どんな形でも、相互に助け合うと、思いがけない力が生まれます。先日、卒業前にぜひと一念発起して、APUの学生が、別府市民の方や企業の皆さん、立命館大学校友の皆さんなどと共にスポーツを楽しめる国際交流イベントを行いましたが(注・ISE。6・7ページ参照)、「立命館」が社会で広く受け入れられているおかげもあって大成功し、連携することで広がる可能性を改めて肌で感じる良い機会になりました。

竹本 慎也
APU '03卒
APU校友会会長
(株)博報堂勤務

竹本● 私は、APUで普通に生活しているだけのうちは、立命館学園の一員だと実感する機会はあまりありませんでした。しかし、就職活動をしてみて、目に見えないところで頼もしい立命館のネットワークに支えられているのだと大変よくわかりました。立命館大学校友会の皆さんとの交流を通じて、このネットワークの心強さと、自分を豊かにできそうな期待を感じています。

井辻 秀剛(司会者)
'84経営卒
日本コカ・コーラ(株)営業推進本部
関西リージョン担当バイスプレジデント

中学・高校も独立した核である

井辻● さて、中川さんは立命館中・高をご卒業で、立命館ニューヨーク校友会のメンバーでいらっしゃるのですが、大学は立命館ではないんですよね。ニューヨーク校友会は、立命館各学校出身者なら誰でも参加でき、オール立命館連携のさきがけとも言えるわけですが、どんな意識で参加していらっしゃるのでしょうか。

中川● 私が立命館中学・高校で過ごした六年間は、人生の他のどの局面よりも活気にあふれて充実していました。私の中で相当な鮮明さを維持しています。あの高揚感が甦るのではないかという強い期待を持って参加しました。ここで申し上げたいのですが、私は、中学・高校が立命館大学の「附属校」であると特段に意識していたわけではありません。用意された枠に収まらずに自分の道を模索しよ

うとするユニークな仲間がたくさんいましたので、私たちにとっては、中学・高校それ自体が独立した本質的な核なのです。たとえ大学が違っても、大学以外の場所に研鑽の場を求めても、立命館は確たる母校です。中学や高校で立命館に入る人のほうが、より強い必然性をもって立命館を学び舎に決めたのではないかと感じますし、より若い時期のほうが校風の影響を受けやすいのではないでしょうか。立命館大学で学ばれた皆さんに勝るとも劣らない濃度で、私たちは「立命館の愛弟子である」と自負しています。私たちの様々な個性が、校友会の連合体ができた折には、これに強さと魅力を与えられると考えます。

井辻● 海外では、校友会のもつ意味合いはより大きいのではありませんか。

中川● 海外では、社会人でも学生でも、あらゆる面でハンディキャップに直面します。同じ学び舎に育った連帯感を持ちながら、知恵や精神力で困難を乗り越えていく体験を共有する場ということでしょうか。お互いを鼓舞し合うための貴重な場です。これから当地へ来られる方をお手伝いしたり、私が帰国した後にこちらの事情をお知らせしたりといったこともできるでしょう。

卒業後の良質な交流環境が生み出す新しい価値

井辻● 立命館では現在、大学二校、中学高校三校の、大きく五つの校友会が活動していて、それは都道府県単位、あるいは職域、学部学科、サークルなどを母体とする多くの団体によって支えられているわけです。これらがうまく有機的連携を果たした暁に対する期待をどんどんお話しください。

竹本● これからの大学にとって、学生の在学中はもちろん、卒業後に提供できる環境の質も重要になることは、おそらく間違いないでしょう。大学は教育研究する場にとどまらず、様々な価値を生み出す場所へと変貌を遂げることが求められるのではないでしょうか。大学を拠点に、人々が関わり、多様な活動を派生させていくことができれば理想的で、そこにパワーが生まれます。校友会の連携に期待するものは、新しいパワーの創出です。校友会の連合体と学園とが力を合わせて、あらゆるパワーを吸収、混合し、付加価値のついた形で放出できれば良いと思います。

大山● APUの学生、特に国内学生は、社会に出てからも立命館とのつながりを保ちたいと考えていますよ。完全に分けてしまったら、あまりにもったいないのは明らかですから。各方面との連携の切り口を探りながらイベントを行ってみて感じたのは、ここで論じているような趣旨を理解して、好意的に受け止めてくれる人は、学生にも、社会の皆さんの中にも多いということです。学生が、卒業後に交流する、あるいは思い出の場所へ戻る、そういう機会を望むのも自然なことです。連携の理念は素晴らしいので、できることから具現化していくことが必要ですね。国際学生にアピールするには、

大山　高
APU '04新卒生
三洋電機(株)就職内定

目に見え、体験できる活動が不可欠です。何年か経って、力をつけた彼らによって、支援の輪が国際的になれば素晴らしいじゃないですか。

中川● 個性とバイタリティーの豊富さを特徴とする、立命館の校友会とその関連組織は、会員同士つねに教えあい、鼓舞しあえる精神性の高い連合体であってほしいと願います。馴れ合いになったり、特別の便宜を図ったりして、当面の利を求めすぎ、刹那的な結びつきに終わっては寂しいですからね。

井辻● 皆さんのお話しを伺うと、立命館の発展に伴って、学園や校友会をめぐる環境が急速に大きく変わってきたことが実感できます。国際的な広がりもでき、若い皆さんの意識も高まり、頼もしい限りです。我々立命館大学校友も、伝統を大切にしつつもこの新しい環境を意識して一歩踏み出していきたいと思います。どなたも、ぜひ仲間の輪に加わっていただきたいですね。そして、大学・中学高校も含めたオール立命館の全構成員が、お互いに仲間の力になれるように自分を高めておく努力も必要かと思います。自由を保障された中で、いろいろな人や組織とのフレキシブルな関係づくりをし、校友会の連合体を新しいエネルギーを生み出す場に育て上げたいものですね。皆さん一緒に頑張りましょう。

中川 祐一
'84立命館高等学校卒
Nippon Express USA,Inc.
(米国日本通運) 勤務

［APU学生が盛大に開催］

Intercultural Sports Event（ISE）スポーツで言葉のいらない国際交流を！

APUの学生たちが、ビッグイベントを成功させた。一月一二日（成人の日）、入れ代り立ち代り訪れた一五〇〇名を超える人々。会場の「べっぷアリーナ（別府市総合体育館）」は、APUおよび立命館大学の学生・校友、あらゆる年齢層の市民、企業関係者、そして一流のスポーツ選手らの交流の場となった。

選手宣誓

これは、前ページの座談会にも登場した大山高さんの思いから始まった。「APU学生がお互いに、あるいは地元の人々や立命館学園関係者と、社会から注目を集められる魅力的な形で国際交流できれば素晴らしい」。

そして、言葉の壁のない「スポーツ」を軸にしようと決めた。「企業にもメセナ活動の一環として協力していただけるかもしれない」。就職内定先の三洋電機（株）から快諾を得て、夢は一気に現実味を帯びる。

開会式にて

自主ゼミ「伊友会」の仲間に声を掛け、「ISE実行委員会」を結成、協賛企業や後援団体集めと企画の具体化に奔走した。実質三カ月弱の間に、三洋電機のほか、ミズノ（株）、ヨネックス（株）、（株）オートバックスセブン、味の素（株）などの大手企業や、別府市、地元メディア、バス会社、各種競技団体、APUおよび立命館大学の校友会等々からの協力をとりつけ、別府はもちろん大分県内でも指折りのイベントとして成功させたのである。

「やるなら一流のゲストを呼んで参加者に満足してもらおう」。世界レベルの選手を擁する三洋電機バドミントンチーム、女子綱引き世界チャンピオン大分コスモレディース、そしてプロ野球ダイエーホークスの二選手が来場、参加者とのプレーや技術指導、サイン会を行った。

ISEの意義と今後の発展可能性

- 学生・地域・企業三位一体の、それぞれにメリットのある国際交流活動とする。
- 学内交流、校友会を含む立命館学園内交流の場とする。
- APU校友のホームカミング行事とする。…等

「市民参加者やゲストから「本当に学生主催なの？ 信じられない。来年以降もぜひ続けて」と励まされ、感無量だった」と実行委員たちは語った。様々な可能性を秘めたこのイベントの今後が楽しみである。ぜひご協力をお願いしたい。

▼ISE実行委員会メンバー

綱引き決勝

綱引きで優勝したAPUの学生たちと大分コスモレディースの皆さん。浜田別府市長の姿も

イベントレポート

綱引き

APUからクラブ単位で参加したチームや地元の小・中学生チームなどが出場。大分県綱引き連盟の指導で本格的な試合をした。

大柄な男子多国籍学生を選りすぐったAPUチームが勝ち上がり、「大分コスモレディース」と対戦、なんと勝利をおさめた。体重合計が「コスモ」を一〇〇キロ上回っていたとはいえ、世界一の技量を持つチームに勝ったと一同抱き合って嬉し泣き。力を振り絞っての大勝負にアリーナ中が湧いた。

バドミントン

三洋バドミントンチームから、監督・コーチ含め九名が参加。その指導のもと、レベルにあわせた試合やクリニックが行われた。立命館大学バドミントン部からも、松田卓也さん（文2）と中田雅史さん（産社1）が参加。エキシビジョンマッチでは三洋の選手と対戦し、華麗な技を披露した。

大分県校友会の安達哲夫さん(左・'69経営)、岩本澄樹さん（中・'76産社)、岡崎信行さん(右・'66法)

●大分県校友会 幹事長 岡崎 信行さん('66法)の話

今回は準備期間が短く、地元の各方面や我々の校友会の協力体制は、点が集まったといったところでした。それでもこれほど勢いに溢れたイベントになりました。来年以降は声掛けに本腰を入れ、線から面へと協力の輪を広げていきたいです。大分県校友にとっても、とても意義深い行事です。若いエネルギーは素晴らしい!

少年野球教室

ダイエーホークスの本間満、荒金久雄両選手が、投球や身体づくりを指導。子供たちも保護者も、憧れのプロを前に目を輝かせていた。

このほか、国際学生による本場さながらのバスケットボールや、東南アジアの球技セパタクロー、バレーボール、ドッジボールなどを楽しんだ。

パフォーマンス

APUのダンス・音楽系サークルや地元バトンクラブが、華やかな演技でランチタイムを彩った。

ダイエー荒金選手（左）、本間選手と野球少年

エキシビジョンマッチ（手前、立命館大学中田選手）

バレーボールを楽しむ参加者

APUよさこいチーム「よっしゃ虎威」

バドミントンクリニック

三洋電機バドミントンチームの皆さん

渡 博文 さん

■株式会社奄美大島開運酒造 代表取締役社長［'54法入学］

苦労ゆえの島への愛

昨年は奄美群島日本復帰五〇周年でしたね。渡さんは復帰後すぐに立命館に入学なさったわけですが、当時はやはりご苦労がありましたか。

島は戦争で焼け野原になっていまして、教室といっても、米軍払い下げの粗末なテントでした。教科書はおろか、学用品はほとんど何もなく、自分で木箱を持っていって机の代わりにしたものです。日差しや風向きの加減で、その都度テントを動かしてね（笑）。名瀬の旧制大島中学に入る時は、私のために姉弟みなが力を合わせてくれました。私は学校へ、姉は紬を織りながら炊事洗濯、週末には名瀬から遠く離れた宇検村の実家まで食糧の調達に行くという暮らしで、この時期は大学に入る時以上の努力が要りました。

何しろ復帰までは本土に渡ることも許されなかったので、大学の情報は稀に島に入ってくる『蛍雪時代』くらいでしか得られなかったですね。結局よくわからぬままに、末川博先生の名前に惹かれて法学部に入りました。

京都は寒かった。奄美では霜が降りることはないですから、寒さはこたえました。勉強した話はあまり覚えていないので、困るんですよ（笑）。

初めから島に帰るおつもりだったのですか。事業家としては、ホテル業からスタートなさったそうですが。

大学入学の時から、帰ろうと思っていましたよ。島が好きで、こだわりもありましたから。建設会社を興していた父の「帰ってきて手伝え」の一言で、ためらわずに帰りました。そして建築士の資格を取って仕事に勤しみました。しかし、一九六〇年代に入ると建設不況になりましてね。「これからは観光だ」と思ったのです。六六年、三三歳の時、奄美観光ホテルを開業しました。旅行業者にパンフレットを持っていっても、奄美に興味を示すところはほとんどなかった時代です。二年後、現在の天皇・皇后両陛下にお泊まりいただいた頃から、奄美の良さをわかっていただけるようになり、航空会社とタイアップして、張り切ってセールスをしたものです。今ここは宴会場として営業していますが、別の新しい、当地の核になるホテルを作ろうと準備を進めているんです。ホテル業は私の原点ですから。

好きな焼酎が広げた事業

現在は、人気の黒糖焼酎「れんと」蔵元の社長さんとして有名でいらっしゃいますね。校友会でもすっかりおなじみの焼酎です。

この島が経済的に自立するためには、島外で喜ばれる名産品が必要です。長らく島を支えていたのが大島紬で、現在は、奄美にだけ製造が許されてきた、黒糖を原料とした焼酎がそれです。

私は若い頃から、焼酎が好きでした。しかし、かつては安酒のイメージが強くて、飲むにも肩身の狭いような感じでした。徐々に受け

郷土奄美を愛し、夢を追い、夢を食う

1933年奄美大島・宇検村生まれ。54年、立命館大学法学部に入学。
帰郷し、父親の建設会社を手伝った後、66年、奄美観光株式会社を設立、ホテルを開業。
96年、奄美大島開運酒造を設立。98年株式会社化し、現在に至る。

入れられ、各地のいろいろな銘柄が世に出るようになった頃、「でも、奄美の黒糖焼酎はもっとすばらしいんだ。私の黒糖焼酎を作りたい」と強く思ったのです。すると幸いにも醸造元の経営を譲ってもらえるチャンスが巡ってきたのです。島で一番良質の水が得られる、出身地の宇検村に、最先端の工場を建てました。まだ焼酎ブームが起こる前のことです。

はじめから、女性に喜んでいただける焼酎を作るつもりで、栄養学を学び、黒糖の研究経験があった長男の妻を杜氏にしました。他の女性社員の感性も生かして、くせのない風味に整え、海の色のガラス瓶に詰めることにしました。それが吉と出て、おかげさまで今では生産が追いつかないほどです。

「開運酒造」という社名や、洗練された「れんと」という商品名も受けたのでしょうね。

「れんと」は音楽用語で「ゆっくりと」の意味です。熟成タンクに、音を振動に変える装置を取り付け、焼酎にクラシックの名曲を聞かせながらじっくり寝かせているのです。その振動によって、よりまろやかな口あたりが生まれるのですよ。

宇検村で展開なさる事業として、中長期滞在型・体験型の宿泊施設も考えておいでだとか。

音響システムのついたタンク

そうなんです。研究開発のために、九州各地の大学や工業センターにお世話になっていますので、私のほうではインターンシップを受け入れようと思いまして、そのための宿泊所を整備しようとしたのが発端なのです。それを急ごうとしていましたら、県や村から、「協力するので、地域振興に役立つしっかりしたプランでおやりなさい」と声をかけていただきました。「開運の郷」と言いまして、来年着工します。

豊かな自然に浸りながら農作業や黒糖作りなどを経験していただくも良し、スポーツ施設もありますから、大学生の合宿などにお越しいただくも良し。立命館やAPUの学生さんもぜひどうぞ。奄美には大学がありませんので、学生さんが来て、島の子供たちと何らかの交流をもって下されば、子供たちにとっては非常な刺激になり、具体的な目標にもなります。子供の向上心を高めることは、長い目で見れば島の将来のために大いに役立つことだと思っています。もちろん、お越しになった方々にも、老若男女を問わず都会では味わえない満足を感じていただけるような施設に育ててまいります。

夢の実現が次の夢を呼ぶ

目標を一つ一つ着実に形になさっていますが、そのための秘訣は何ですか。

私が会社を興した時以来ずっとお付き合いがあり大変お世話になった、城山観光株式会社会長の保直次氏の言葉に、「夢を見、夢を追い、夢を食う」というものがあります。食うというのは完成させる、実現させるということですが、これが私の座右の銘です。夢の大小にかかわらず、やると決めたら全力投球をして、完成させる喜びを自分で味わってみる。するとまた次の新しい夢が湧いてくる。夢が成長していくわけです。

やりたいやりたいと思っていると、長い時間がかかる場合もありますが、いつかチャンスが来るものです。私の焼酎の場合と同じです。チャンスを見逃さないように。決断するまでは慎重に慎重を期して。「現場一〇〇回」といつも私は言いますが、何かやろうとするその現場に、時間を変えて何度も足を運びます。そうするうちに、胸騒ぎのするような場合は、ちょっとね…。これならいけると思ったら、もう、賭けと同じです。決断したら走らねばならないと思います。走る時は速いですよ、私は（笑）。

RITSUMEI INTERVIEW

横顔

わたり　ひろふみさん

奄美を代表する実業家の渡さん。70歳を迎えたが、毎日フル回転である。まったく年齢を感じさせない。

パワーの源のひとつは、立命館学生スポーツの観戦なのだそうだ。学生時代に欠かさず出かけていた「立同戦」応援の熱い記憶が冷めやらず、現在でも折にふれて西京極へ足を運ぶ。「家族には、私が立同戦に行った時はすぐにわかるようです。歩き方までシャキッとしていると言われます（笑）」。昨年からは、パンサーズが出場したライスボウルのテレビ観戦もメニューに加わった。

「れんと」を育む水、アランガチの滝にて

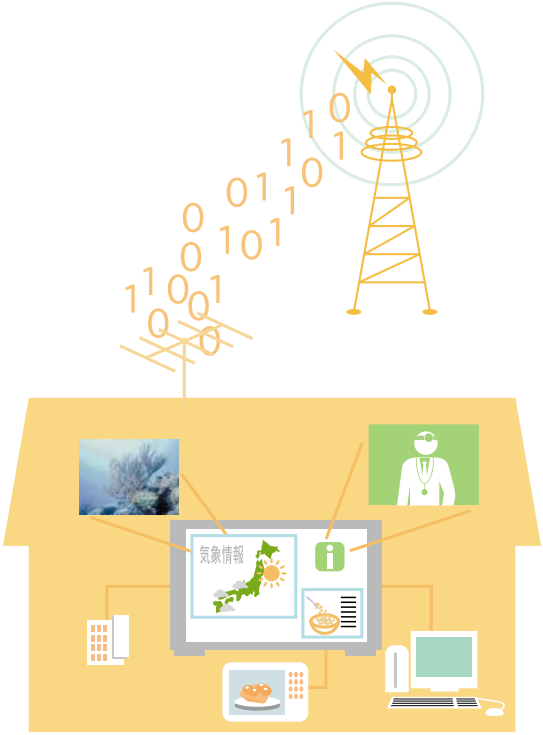
学生たちの元気な話題を肴に、地元奄美在住の校友たちと杯を交わしたり、鹿児島県校友会の総会に参加したりする。これもまた気分爽快とのことだ。「この背広は、鹿児島の校友の店で仕立てましたし、当社の焼酎の瓶も先輩のところで作っていただいているのです。良いご縁です」。

「奄美のために」が口癖。自分の事業と直接関わらないことでも率先して一肌脱ぐ、度量の大きな渡さん。裏千家・淡交会の奄美大島支部長を務める文化人としての顔も持っている。

地上デジタル放送

―家庭の「セットトップボックス」時代の到来―

西村俊和　立命館大学理工学部助教授



Q まずは、現在のテレビ放送のしくみについてお聞かせください。

A 現在のテレビの放送は、「地上波アナログ放送」が日本では主流です。「アナログ放送」というのは、テレビ画面の明るさを電気信号の強弱で表し、画面信号の強弱をそのまま電波にのせて送信する方法をいいます。この電波は一つの周波数だけでは通信できず、その送信信号の強弱によって中心周波数から上下に少し広がりを見せます。この広がりを電波帯域といいます。この電波帯域を重ねますと混信しますので、例えばラジオの周波数は、九キロヘルツの間隔を空けて放送局を設定しています。ですから、ラジオの周波数は九で割り切れる数字なのです。ラジオとは違ってカラーテレビの場合、音ではなく画像を通信するために、大変幅広い電波帯域を使います。色の表現には光の三原色といわれる三色を使いますから、単純に考えますと白黒放送の三倍の電波帯域を必要とするわけです。人類共通の限りある電波資源を有効に利用するために、人間の視覚の性質を利用して映像情報を三分の一に圧縮させることで電波帯域をなるべく狭くして通信しているのが、NTSCカラーという方法による現在の「アナログ放送」なのです。

Q 従来の放送と比較した『地上デジタル放送』の長所とは何でしょうか。

A この「アナログ放送」だけでも特に問題はないのですが、「デジタル放送」にすることによって、電波帯域を節約し有効利用できることはもっとも大きな長所だと言えると思います。「デジタル放送」というのは画面信号の強弱をデジタルデータ化して送信するもので、より高い圧縮、狭い帯域で通信することができます。LSI（超高集積回路）とデジタル信号処理技術の発達に伴い、「アナログ放送」での圧縮方法と違って、より高い圧縮率の実現が容易になりました。圧縮によって電波帯域の節約になります。結果として、より高品質画像で通信でき、皆さんご存知のデジタルハイビジョンのような映像を楽しむことができるのです。視聴者からみたメリットとしては、周波数の間隔を狭めることで今までよりもよりチャンネルを増やすことができ、色々な放送を楽しむことができることがあげられます。そして、画像以外の大量の情報などもデータ放送でき、ご家庭の機器で便利に利用できます。その他にも電話回線等を接続して双方向通信を追加しますと、これまでインターネット等で提供されていたネットワークサービスのテレビへ

地上デジタル放送 ―家庭の「セットトップボックス」時代の到来―

2003年12月より、東京・大阪・名古屋の三大都市において、政府が掲げるＩＴ戦略の一つである「地上デジタル放送」が開始された。地上波の革命ともいえる今次の展開について、インターネットやモバイルコンピューティングに代表される広域情報ネットワークをご専門とされる理工学部情報系情報学科の西村俊和助教授にお話を伺った。

Q 『地上デジタル放送』について、先進各国の取り組みにはどのようなものがありますか。

A 一九九八年九月に英国において、初めて「地上デジタル放送」が開始されました。それ以降、電波資源の有効利用の観点から、ヨーロッパのほとんどでデジタル放送が開始されました。反対に、アメリカやカナダのように国土の大きい国においては、電波を利用するよりも有線ケーブルによる配信を利用することが多いために、あまり普及しなかった例もあります。日本には人口が集中している大都市がいくつかありますので、東京タワーのような電波塔を比較的安価に立てることができ、多くの人がそこからの電波を受信できるため、メリットは十分にあると思います。

Q 日本の国家戦略としてのＩＴ戦略との関わりで、地上デジタル放送に期待される積極的な役割をご紹介ください。

A テレビという市民の日常生活における基幹メディアをデジタル化することによって、広域情報ネットワークのさらなる発展が目指されています。二〇一一年には、従来のアナログ放送は終了し、完全にデジタル放送に切り替わる予定です。地上デジタル放送によって、テレビにパソコンや情報端末としての一面も持たせることで、これまでの固定概念を超えた広がりが期待できると思います。例えば、デジタル放送によって料理のレシピを入手し、その調理方法をそのままレンジに転送すれば、簡単に料理をつくることもできます。まさに、テレビとレンジのコラボレーションが実現するわけです。ＢＳ放送あるいはデジタル放送用のチューナーのように、既存のテレビに追加機能を持たせる機械を「セットトップボックス」と呼びますが、特にデジタル放送用チューナーにはデジタル信号制御用の計算素子が入っていますし、家庭の電気機器の多くにもそれが入っていますので、ソフトウェアの機能の追加によって家庭の電気機器すべてをこの「セットトップボックス」によって連携させることは、技術的にはそんなに難しいことではありません。デジタル放送用チューナーやテレビの導入によって、生活が便利になるデジタル化が知らず知らずの間に進行するでしょう。すべての電気機器がデジタル化されることで、子どもから大人、そして高齢者の方々まで、情報通信技術をとりたてて意識することなく電気機器を便利に使いこなせるようになり、家庭も生活の質を向上させていく夢の空間となり得るのではないでしょうか。

profile にしむら としかず
理工学部助教授
2004年4月より、情報理工学部 助教授
専門分野／社会情報学、モバイルコンピューティング、計算機ネットワーク、ヒューマンコンピュータインタラクション

■主な著書・研究論文
- 『デスクトップ会議における3次元仮想空間の効果』(共著、1998年、情報処理学会論文誌)
- 『コンピュータネットワーク』(共著、2001年、オーム社)
- 『情報社会とデジタルコミュニティ』(共著、2002年、東京電機大学出版局)

立命館あの頃

学生生活を追って

1975年～1985年頃（昭和50年代）その2

惜しみつつ別れた広小路学舎、
若いエネルギーが集結した衣笠キャンパス、そしてグラウンド…。
それぞれの場所で、方法で、学生たちは自分に向き合い、
友と青春の日々を紡いでいた。

グレーター立命

小山 正彦（'79経済）

「空はさながら、青春の…」立命館大学応援歌。今でもこの歌を聞くと学生時代の立同戦の思い出が脳裏によみがえってきます。

私が入学した昭和五〇年春の立命館大学硬式野球部は、前年春に入れ替え戦から一部に昇格し、晴れて関西六大学野球リーグに復帰したところでした。

新入部員の私からすれば先輩方の顔は本当に輝いていました。また先輩達を見て、なんと大人の世界へ入って来たのかと少々の戸惑いを覚えたのを記憶しております。プロ野球へ進まれた徳山先輩（クラウンライターライオンズ）、平田先輩（広島カープ）、ライバルチーム同志社大学の投手兼四番打者田尾さん（中日ドラゴンズ）、大商大のエース斎藤明夫さん（大洋ホエールズ）など、錚々たるメンバーと試合をし、一年生から試合に出してもらいながらチームの役に立てなかった悔しさ、大学野球の厳しさを痛感させられました。

一年生の春の立同戦では完敗し、先輩達とともに悔し涙を流しました。それから「打倒同志社」「目指せ優勝」といつも自分自身に言い聞かせながら、柊野グランドで練習したことが本当に懐かしく、今でも思い出すと胸がしめつけられます。つらい練習、立同戦の敗戦は悔しい限りでした。その時代、気持ちの大きな支えになったのが、応援歌「グレーター立命」でした。

一年生の時には春季リーグ四位、秋季三位、二年生の時に五位、三位、そして三年生の時（昭和五二年）の春のシーズンに、実に一二年ぶり、一六度目の優勝を飾ることができました。まさにチーム全員の結集力で勝ちとった優勝だったと思います。当時中尾監督が柊野の合宿所で選手と寝食を共にし、生活のすべてを私達にそそいで下さったことに対しては今でも深く感謝しております。そして翌年の春季リーグにおいても優勝しました。今の私達があるのは、立命館大学硬式野球部と、そのチームメイトはもとより中尾監督のおかげだと思っております。これからもOBとして誇りを持ち、胸を張ってがんばっていきます。

歓喜の瞬間、中尾監督を胴上げ

当時の衣笠キャンパス

硬式野球部昭和53年春季リーグ優勝。大応援団と喜びにひたる。

法学部Aクラス 今はセピア色

南家 久光（'79法）

法学部Aクラスの委員長になった私は、歴史の中に青春を見出していた。二〇世紀が生んだ矛盾に知らず知らず立ち向かっていった。当時の仲間に三〇年近く会っていないが、いろいろ議論をし、熱中して語った時を今、この原稿を書いている中で思い出している。

新歓夜祭で、フランクフルトをやったね。山県君覚えているかい？学園祭では、合唱に劇に。レガッタもしたね。長浜さん、安保条約と九条のプロゼミ議論で、君がとりあげた東京空襲についての本を私は必死に読んだ。浅田と武井、島谷、山本君、よく島谷君の下宿で議論したね。山本君とは剣道一回立ち会ったな。藤田君には、資本論の指導を受けたね。小谷君とは、判例研究を週一回やった。兄貴、鍋さん、松本君、竹田君には講義のノートをよく借りた。ありがとう。荒川教授、迫力あるプロゼミありがとうございます。

二〇歳になる少し前に、高野悦子の『二十歳の原点』を、徹夜で読破。ポールモーリアを聞きながら。広小路学舎を歩きながら、「あの人も歩いたんだ」と不思議な感動を覚えた。

喫茶店は「ジャルダン」、覚えているかな？ あのジャンボオムライス。ジュークボックスでかけた、「時代」「いちご白書」。

生意気に、人生、愛、男と女、幸福、戦争と平和、歴史、経済等々議論した。

立命館の学生だったことに、自信と誇りを持てる自分に、卒業してから不思議に酔いしれる。あのころのメンバーは確かに、しらけてなかった。何かに必死だったメンバーが、Aクラスには集まっていた。あのころをテーマに、今、小説を書いている。

夢、いまだ、夢。学生時代に一度だけ、中央公論小説新人賞に応募した。青春は時として、実力以上の夢を見たがる。しかし、許されるのも青春時代。胸のうちにあるセピア色の立命館時代は、今の私を支えている。

衣笠の日々

小森 悦子（'81経営・旧姓皿海）

私が入学した昭和五二年当時、西大路通りを最後の市電が木の床、緑の車体で走っていた。

通学途中の三条京阪のターミナルはまだ地上にあり、陸橋の下には高山彦九郎の座像があったと思う。ここから一五番・衣笠行、五九番・宇多野山越行のバスで一講目の仏語に急いだ。

中には女子はゼロのクラスもあったと聞くが、仏語には一一名の女子学生がいて、体育ともなると学年の女子全員を集めて一クラスの授業が行われていたので、その人数は恐らく四〇～五〇名だったのだろう。入学後最初の行事、新歓夜祭は、この年が最後だったと思うが広小路で行われ、模擬店の明かりが夜を照らし学生が溢れる盛況ぶりだった。この後女子学生の多い文学部が衣笠へ移って来るというので、男子学生は大いに期待していたようだ。

以学館の階段の段間には、「下駄ばき禁止」の注意書きがあり、下駄で来る人なんか居るの？と思っていると、確かにカランコロンと大きな足音がした。私が立命の学生だと言うと、「エッ、男子校じゃなかったの」と言う人が世間には居て、目が点になることもあった。以学館の地階学生食堂の手前、理髪店の看板がクルクル回っている向かい側には、「グリルレゾーン」があり、ランチともなるとそこには、ハムサラダやパイナップルサラダがお目当ての女子学生が大勢来ていたと思う。

金閣寺、竜安寺、等持院と、名だたる旧跡が近くにある衣笠で四季は急ぐかのように移ろい、私は友人達と共に今まさに現在進行形の青春のページを綴っていた。今なら『そうだ 京都、行こう。』と呟きたくなる程の絶好の環境だとも気づかず、桜も紅葉もあって当たり前の衣笠舞台装置だった。

ユア、ヨーク、マイン、クリケット、ニューフロンティア…。あの頃友と通った周辺のコーヒーショップの数々。あなたはいくつ思い出せますか。

キャンパスに増えてきた女子学生
（本文とは関係ありません）

おじゃします!

岡山県 校友会 の巻

昨年11月29日、岡山県校友会が第54回の年次総会・懇親会を開催した。
毎年コンスタントな活動を続けてきたが、今年は240名という多数の参加を得てことに盛況であった。
JR岡山駅前「ラヴィール岡山」で行われた総会にお邪魔した。

県下校友のネットワーク強化を

二〇〇二年秋に就任した龍門功会長('65理工)らによる組織強化の取り組みが実を結び、今回の参加者数は過去最高にのぼった。このため当初予定していた会場から場所を変更するなど、県の役員会にとっては、まさに嬉しい悲鳴をあげながらの総会準備となった。

岡山県庁、岡山・倉敷・玉野の各市役所、中国銀行、トマト銀行、岡山ガス等々の職場事業所単位で、また県内の地域ごとのまとまりに対して総会への参加が呼びかけられ、それに応じた人たちが多数集まった。当然ながら、今回初めて出席した人や若い人が増え、活況を呈した。

会は、秋山松男副事務局長('71産社)の司会で進行。冒頭で龍門会長が「母校の躍進を喜びつつ、校友の幅広いネットワークをいっそう強めよう」と挨拶されたのを受けて、大学を代表して出席した川村貞夫副総長は、二五万校友のネットワークによる日頃の支援に感謝するとともに、国際的に評価される大学作りを進めていく決意を力強く語られた。

続いて、各グループ・地区の役員が紹介され、守屋博司事務局長('70産社)から活動報告・会計報告等がなされて総会を終えた。

▲池上尚見氏('60理工)によるマジックショー

大懇親の輪

山本俊介氏('60経済)の乾杯発声で懇親会が始まった。各グループごとに檀上に上がり、紹介が行われていく。中でも、桑山博之氏('63法)をはじめとする美作津山地域からの一〇名の参加者には、一際大きな拍手が贈られていた。

岡山県校友会では、「平成の会」「女性の会」といった活動もなされ、「関西七大学校友会懇親ゴルフコンペ」にも毎年メンバーが出場している。様々なスタイルによる交流を試みながら、その魅力を増している岡山県校友会。今後ますます発展を期待したい。

▼グループごとの参加者紹介

京都 春風会の巻

おじゃします!

立命館京都春風会ホームページ　http://www.rsbk.org/

立命館の地元京都で活動する、40歳までの若手校友の会、それが京都春風会です。発足して1年半ほどですが、回を重ねるごとに参加者の平均年齢が若くなっていくという、あまたの校友会の中でも異色の注目団体です。
1月23日、烏丸御池の「新風館」内イタリアンレストラン「Zanetti」で行われた新年会にお邪魔しました。

みんなで元気になろう!

立命館京都春風会は、一昨年の一〇月に誕生した、まさに若い会です。「大学の地元で元気に頑張っている若手校友が自由に集まり、学び合い、励まし合える場をつくろう。そしていっそう元気になれるように」。初代会長で現在は顧問の西口吉宏さん（85経営）をはじめとする数名が設立準備に奔走し、「こんな集まりを待っていた」と好評を博する会がスタートしました。

その後、新年、新人歓迎など、折りにふれて会合を実施、この新年会は五回目のイベントとなりました。

今回の参加者は一九八五年卒から現役の学生・院生まで三五名。三分の二が二〇代というフレッシュさです。様々な仕事・目標をもつ皆さんと言葉を交わしていくだけで、確かに私も元気になってきたような…。全く知らなかったことを教わったり、将来の夢を語る言葉に感化されたりで、自分の中の、日頃使っていないスイッチがONになったような感覚でした。

過去四回の会合では、若手講師による講演会や、「あなたはどのように自分を元気にしていますか」といったテーマでのバズセッション（＝班ごとの話し合い）を行い、目的意識を明確にするように心がけてきたそうです。この硬軟折り混ぜた運営が、やる気のある若者の心をとらえています。

若手の会だからこそ意識的な若返り策を

このほど会長になった岩谷直樹さん（96経営）は三代目。「会の新陳代謝をよくしようと、短い期間で、より若い代へ役員のバトンを渡すことが続けられてきました。限られた時間の中で、皆の元気のために何ができるか、知恵を出し合っていきます」と語ってくれました。

初代の西口さんと、二代目の中村高之さん（88経済）も「新役員の周辺の人が積極的に手伝って、新しいメンバーを連れてくるという良い循環が、今回で確立しました。一〇〇人規模の会に育てばいいですね」と、会の前途に希望を託していました。

京都・滋賀に在住もしくは勤務している四〇歳までの校友で、「私は元気に頑張っている」とお思いの方なら誰でも会員になれます。専業主婦の方ももちろんOKとのことです。皆さん奮ってご参加下さい。

会長経験者3人で。（左）中村さん、（中）岩谷さん、（右）西口さん。

次回予定
新人歓迎会6月26日（土）

立命館大学学宝

西園寺公望　行厨

六角 紫水 作

H11×10×13cm

立命館学祖・西園寺公望公（一八四九～一九四〇）が愛用したと伝えられる弁当箱である。小振りな三段重ねの漆塗りであり、落ち着いた色合いと上質の塗りが品の良さを醸し出している。

作者の六角紫水（一八六六～一九五〇）は、東京美術学校教授で帝国芸術院会員であった漆工芸の大家である。

西園寺がこの弁当箱をどのように使っていたのか詳しいことは定かではないが、近代日本の興隆期から第二次大戦に突き進んでいく激動の時期まで、折にふれて西園寺の心を和ませていたことであろう。

なお現在、静岡市が、西園寺が晩年を過ごした別邸「坐漁荘」の復元再建を行っており、「興津坐漁荘記念館」として四月二五日開館の予定である。これに伴い左記の通り記念展覧会が開催される。この行厨をはじめ立命館大学所蔵の品数点も展示されるので、ぜひご覧いただきたい。

坐漁荘開館記念展

会場：坐漁荘記念館　主屋
静岡市清水興津清見寺町115
TEL 054-69-2221（4月15日以降）
期間：4月25日（日）～6月30日（水）
平日：10時～17時
土日祝日：9時30分～17時30分
月曜日休館

自由席

jiyuseki

再会を夢見ながら

橋本宏治（'87文）

去年の暮、何年か振りでクラス会を開きました。徳島にいながらの幹事は大変だったけれど、友人との楽しい語らいが苦労を吹き飛ばしてくれました。入学して二〇年が経ち、友人達の顔にも月日が刻み込まれ、人生の折り返し点にいることを実感させられました。

高校卒業時、英語の教員を夢見ていましたが、経済的な理由もあり、大学選択を迷っていました。そして当時学費の安かった立命館大学に決め、昼はアルバイト、夜は講義へと、多忙な四年間だったと思います。今ならとてもやれるものではありません（笑）。疲れた体をひきずって講義に出席できたのも、故郷を離れて四年間で卒業できたのも、同じ厳しい境遇で頑張っている友人の姿があったからだと感謝しています。もちろん私達二部学生を大切にしてくれた大学にも感謝しています。

現在は地元の中学校で英語の教員をしていますが、年を追うごとに責任も重くなり、教育界も変化の激しさがあって、苦労も多いのです。仲間を思い出しながら、自分なりにこれからも頑張っていこうと思っています。そして、いつまでも立命館を卒業したことを誇りに生活していくつもりです。次回のクラス会が楽しみです。

埼玉県校友会立ち上げの想い出

千草啓一（'60法）

校友会埼玉支部（当時、以下同）は、東京支部から分離独立し、平成二年に全国四七番目の支部として発足した。以来一四年余に亘り継続され今日に至っている。発足当時の事を振り返ってみると紆余曲折を辿りつつも、立ち上げに努め協力した一人として、活動が続いている事は嬉しい限りだ。

幸い現会長の西垣義明氏が東京支部との関係が深かったことから、故近江屋成一初代支部長、二代目松田浩章支部長らとともに、会報『埼玉立命』の発行、総会・アトラクション等、年を追って充実を計っていった。中でもゲストに民謡歌手の大野実佐子さんや、ジャーナリストの有田芳生氏などを迎えたこと、ライスボウルの応援などが印象に残っている。

これも立命大精神が底流にあったればこそと、今では種々の行事が懐かしく想い出されると共に、新聞紙上に母校の記事（出身者含む）が出る事を誇りに思っている昨今である。益々の発展を期待したい。

一〇年ぶりの再会

金　文徹（'94経営）

大阪の貿易会社で海外からの仕入れを担当している私は、主な仕入れ先である中国をほぼ毎月訪れている。九年目になった昨年、同じ経営学部に留学していた劉素文さん（'94経営）にバッタリ会った。

〇三年一一月、私は中国威海市のホテルで取引先の社長のご紹介があった中国のメーカーの社長を待っていた。ちょうど約束の時間、ある男が現われ、ロビーにいた多くの人々の中で迷わず私に声をかけた。不思議に私もあの人だろうと勝手に決め付けた。その人のご案内で車に乗ってから私は尋ねた。「劉さん、私たちどこかで会ったことありませんか」。「もしかして留学したことありませんか」と返事を聞いた瞬間、二人とも「立命や！」と車内で叫んだ。一〇年ぶりの再会だった。当時、韓国から来た私と中国からの劉さんは、何故か同じ科目の授業が多くて仲良く過ごしたし、よく話し合っていたものだ。

その日、劉さんの会社がある煙台市で二人だけの同窓会を開いた。留学時代の話、他の留学生たちの安否、当時まだなかったびわこ・くさつキャンパスの話、そして変わった衣笠キャンパスの話…。夜遅くまで歓喜の笑いは止まらなかった。これからきっと二人のビジネスも同苦同楽した立命人としての固い信用の基で発展するだろう。立命の固い絆を感じた二〇〇三年だった。

立命館大学で過ごした日々

小林佳子（'00文）

私が立命館大学を卒業してから、三年以上が過ぎた。文学部哲学思想コースに在籍し、興味深く授業で学び、図書館で本を読み、知識を増やした。アルバイトは、歯科助手を大学近くの歯医者でしていた。

大学では、仲間に出会えた。共に語り、学び、食事をした。様々な人と出会い、人は皆違う事を考え、異なる生き方をしているという当たり前のことを感じた。

将来について模索しながら日々は過ぎていった。大学を卒業したら、大学院に進学する予定だった。その準備も少しずつしていた。哲学する心―揺れ動く現象において真実を凝視する心―を養いながら生きていこうとしていた。卒業の四回生ではゼミにおいて、バイオエシックス―環境問題や生命・医療倫理など―について研究をしていた。

京都の自宅から大学に通っていた私は、卒業後すぐに結婚して、大学院には進学しなかった。京都から東京、群馬へと移った。群馬県の校友会に出席してカラオケも歌った。人は変化を通して成長すると言う。皆、それぞれの道を歩んでいる。

校友会編集係まで原稿をお寄せください。郵送・FAX・電子メールいずれも可。連絡先は裏表紙をご参照ください。

校友会ネットワーク

昨年12月～本年2月下旬に行われた各団体の行事です（判明分）

＊詳しくは校友会ホームページをご覧下さい
http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/index.html

都道府県校友会ほか

12/5　2003年度校友大会実行委員会総括会議＆2004年度準備会
（20名・ホテルグランヴィア京都）

1/31　北海道校友会総会
（75名・札幌パークホテル）

北海道校友会総会

2/5　大阪校友会新年役員会
（43名・スイスホテル南海大阪）

2/15　埼玉県校友会全日本大学女子選抜駅伝応援会（20名・コース沿道）

地域校友会

12/21　ロスアンジェルス校友会忘年会
（14名・新撰組）

1/9　ニューヨーク校友会新年会
（13名・寿司田）

1/13　奄美校友会（9名・奄美観光ホテル）

奄美校友会

1/17　大阪校友会若手グループ新年会
（27名・CHARLY'S CLUB）

1/17　シカゴ校友会新年会
（11名・桜レストラン）

1/23　湘南クラブ新年会
（27名・ホテル好養）

シカゴ校友会新年会

1/23　京都春風会新年会
（35名・新風館「Zanetti」）

1/24　浜松会新年賀詞交歓会
（39名・ホテルコンコルド浜松）

1/24　愛媛県校友会松山支部総会新年会
（53名・松山全日空ホテル）

2/2　静岡県校友会（駿府会）「地域別就職合同セミナー」相談コーナー
（現役学生向け・ホテルアソシア静岡ターミナル）

2/7　姫路立命会総会
（80名・まねき食品本社ビル）

2/14　愛媛県校友会宇摩支部硬式野球部春季キャンプ歓迎レセプション
（25名・グランフォーレ石松）

愛媛県校友会宇摩支部レセプション

2/21　北海道校友会室蘭同窓会
（11名・しらかば）

学部・学科校友会

1/16　建設会三重県支部総会
（40名・ゆずりは荘）

1/17　経営学部同窓会セミナー・懇親会
（虎ノ門パストラル）

1/18　1997年法学部入学社会人学生同窓会
（24名・ホテルグランヴィア大阪「しずく」）

1997年法学部入学社会人学生同窓会

1/31　建立会（建設会大阪支部）総会
（240名・ヴィアーレ大阪）

2/28　経済科学研究会同窓会
（100名・びわこ・くさつキャンパスユニオンホール）

サークルOB・OG会

1/31　経済学部松原豊彦ゼミ同窓会
（45名・京都ガーデンパレス）

経済学部松原豊彦ゼミ同窓会

2/14　現代資本主義研究会OB会
（22名・末川記念会館）

2/21　立命PENクラブOB会総会
（15名・KKR京都くに荘）

2/22　写真研究会OB会総会
（25名・本能寺会館）

その他OB・OG会

12/8　わだつみ像建立50年に集まろう会
（80名・衣笠キャンパス他）

1/3　ライスボウル王将祝賀会
（80名・王将水道橋店）

2/2　Rits Greaters Societyワークショップ
（47名・東京ドームホテル）

全日本チャンピオン

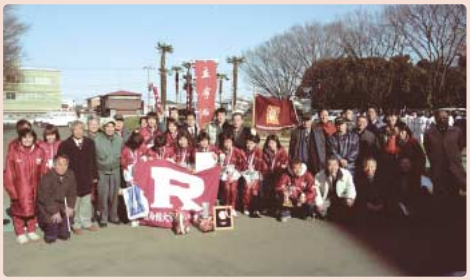
1月3日、東京ドームで行われた第57回ライスボウル（日本選手権）。学生王者の立命館大学パンサーズは、社会人王者のオンワードスカイラークスと対戦、28対16で快勝し、2年連続2回目の全国制覇を成し遂げた。

最終的な獲得ヤードでは、ラン・パスともに相手を上回り、史上最強と言われた今季のパンサーズの力を示した。そしてこの日の最優秀選手には、QBの高田鉄男君（経営4）が選ばれた。

学生・教職員らとともに多数の校友も応援に駆けつけ、終了後はともに祝杯をあげていた。

アメリカンフットボール部 パンサーズ
2年連続全日本チャンピオンに

2月15日、第1回全日本大学女子選抜駅伝競走が埼玉県内のコースを舞台に行われ、立命館大学女子陸上競技部が2位に27秒差をつけ堂々の優勝。昨年11月の全日本大学女子駅伝対校選手権に続き、二冠を獲得した。



西垣義明会長('65法)をはじめとする埼玉県校友会のメンバーが、立命館の幟を立ててコース沿道の要所要所で熱心に応援、選手たちの士気を高めた。

（写真提供：埼玉県校友会）

駅伝二冠

女子陸上競技部
駅伝で見事二冠達成

第76回選抜高校野球大会（3月23日から12日間）に、立命館宇治高等学校硬式野球部が出場することになりました。法人合併後、立命館宇治高等学校となってからは初の甲子園出場であり、立命館学園関係者すべてにとって大きな喜びです。

我々立命館大学校友も、この機に際し、立命館宇治高等学校の若い仲間たちに物心両面にわたる支援・声援を送ろうではありませんか。皆様のあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

選抜高校野球大会出場

立命館宇治高等学校硬式野球部
がんばれ! センバツ甲子園

現在、「全立命館学園支援会・全学募金委員会事務局」が募金のお願いをしております。
ご協力いただける方は、下記口座にお振込み下さいますようお願いします。
郵便振込口座番号：00970-5-269693　口座名称：立命館全学募金委員会
問い合わせ先：Tel. 0774-41-3000（立命館宇治高等学校）

※ 立命館ファミリーカード会員の方は、割引の特典がございます。

立命館オリジナルグッズ 通 信 販 売

新製品 Ritsumeikanネーム入りビニールバッグ

生地は厚手でしっかりしていて、サイズも大きめなので書類入れなどはもちろん、いろいろな用途にお使いいただけます。
キャンパスでも、流行中!!
若い方へのプレゼントにもいかがでしょうか。

- 素　材：塩化ビニール
- サイズ：49cm×35.5cm
- カラー：イエロー・ブルー・ピンク
- 文字：シルバー

価　格：¥525 (会員も一般も同価格)

好評発売中! Rits＋立命館名入りゴルフボール(1ダース)

●ダンロップHI-BRID

立命館ファミリーカード価格	¥3,150
一般価格	¥3,465

●ダンロップDDHツアースペシャル

立命館ファミリーカード価格	¥1,575
一般価格	¥1,732

＊価格はいずれも税込みにて表示させていただいています。

立命館グッズはこの他にも各種取り揃えております。弊社ホームページを是非ご覧ください。便利なインターネットでのご注文もご利用ください。

http://www.creotech.co.jp

立命館ファミリー

立命館ファミリーJCBカード

JCBゴールドカード	ゴールドの名にふさわしい価値を備えた国際カード
JCBグランデ	ショッピングにも旅行にも保険がついた、ひとつ上の安心をプラスしたカード
JCB一般カード	多彩な機能とサービスを兼ね備えた、日本を代表するカード

年会費等のご案内（すべて消費税等込）

	JCBゴールドカード	JCBグランデ	JCB一般カード
本会員	10,500円	2,625円	1,312円
家族会員	1名様無料 (2人目より1名につき1,050円)	1,050円	420円
お申し込み資格・対象	原則として20歳以上でご本人に安定継続収入のある方 ※学生の方はお申し込みいただけません。 ※ゴールドカード独自の審査基準により、発行させていただきます。	原則として18歳以上でご本人または配偶者に安定継続収入のある方	18歳以上でご本人または配偶者に安定継続収入のある方、または高校生を除く18歳以上で学生の方

ファミリーカード固有の機能に加えて、以下の特典も受けられます。

国内サービス
- 携帯電話・プロバイダー料金などのお支払いでポイントがたまる
- 映画館でも割引料金(各種優待サービス)
- 日用品のお買い物が便利
- お好きな商品と交換できる (Oki Dokiポイントプログラム)
- あらゆるシーンで活躍（JCBトラベルデスクetc）

海外サービス
- 世界主要都市であなたをサポート（JCBプラザ/JCBデスク）
- JCBお得な海外情報パンフレット（JCBショッピング&ダイニングパスポート）

［立命館オリジナルグッズ］通 信 販 売　お申し込みのご案内

お申し込み方法 ハガキまたはファックスに、住所、氏名（フリガナ）、年令、電話番号、商品名、数量、金額、お届け先をご記入のうえお申し込みください。

お支払い方法について 立命館ファミリーカード会員の皆様は、カード払いをご利用ください。
※立命館ファミリーカード会員番号、カード有効期限をお申し込み時に必ず明記してください。
一般の皆様は、商品到着後「郵便払込み」にてお支払いください。

お届けについて 商品は、当社がお申し込みを受け付けてから約2週間でお届けいたします。

送料について ご注文毎に1ケ所のお届け先につき、送料を申し受けます。

通信販売 お申し込み・お問い合わせ先
〒603-8353 京都市北区平野上八丁柳町28 (株)クレオテック「ショップ リベルテ」 TEL. 075 (463) 9740 FAX. 075 (465) 5697

カード会員募集！

立命館ファミリーVISAカード

VISAゴールドカード　より快適な人生を過ごしたい方にふさわしいカード

VISAカードA　便利さに安心をプラスした保険つきのカード

VISA一般カード　世界中で信頼がいきるカード

年会費等のご案内（すべて消費税等込）

	VISAゴールドカード	VISAカードA	VISAカード
本会員	10,500円	1,575円	1,312円
家族会員	1名様無料 (2人目より1名につき1,050円)	577円	420円
お申し込み資格・対象	原則として満30歳以上、年収500万円以上で勤務(営業)年数5年以上の方	原則として20歳以上の安定継続収入のある方、または高校生を除く18才以上で学生の方	原則として20歳以上の安定継続収入のある方、または高校生を除く18才以上で学生の方

ファミリーカード固有の機能に加えて、以下の特典も受けられます。

お得
ご利用金額に応じたポイントでプレゼント
お支払方法「マイ・ペイすリボ」をお申し込みの方はポイントが2倍
国内リゾートホテルにご優待

便利
高速道路の料金所もスピーディにパス
フリーダイヤル一本で国際線航空券、海外ホテルを手配
ご希望のチケットを電話一本でご予約、お届け

安心
世界主要都市55ヶ所のVISAジャパンデスクで日本語のサービス&サポート
カードの紛失・盗難の際も安心
カードで購入された商品の万一を補償（利用条件あり）
国内で、海外で、現金をご用立て

1994年から、卒業生の皆様をはじめ多くの立命館関係者の要望に応え「立命館ファミリーカード」が発行されています。

このカードは、オール立命館のネットワーク作りの一端を担い、校友・学生・教職員相互の、また皆様方と学園の絆をより一層緊密なものとすることを目的としたものです。

「立命館ファミリーカード」は三井住友VISAカードとJCBカードの機能に「立命館ファミリーカード」固有の機能が加わったカードです。校友の方々を中心に多方面から多彩な優待・サービスの提供をいただいております。カードを通じて素敵な出会いが生まれ、新たな絆が結ばれることを念願しております。

皆様方に愛着をもってご利用いただけるよう、なお一層努力してまいりますので「立命館ファミリーカード」をよろしくお願い申し上げます。

カード特典
- 立命館オリジナルグッズの特別割引
- ファミリーカード優待店での優待サービス
- JCB、VISAのカードサービスもそれぞれご利用になれます

☆ 立命館ファミリーカードは提携手数料収入の20%を後輩のための奨学金に充てます。もちろん会員の方の特別のご負担はありません。

※ 優待店加盟のお申し込みも随時受付けております。詳しくは下記までお問い合わせ下さい

優待店 立命館ファミリーカード お申し込み・お問い合わせ先
（株）クレオテック
「立命館ファミリーカード」係
〒603-8353　京都市北区平野上八丁柳町28
TEL.075(463)9197　FAX.075(465)5697

各種情報満載のクレオテックのホームページをご覧下さい！
http://www.creotech.co.jp

ファミリーカード新規優待店のご紹介

下呂温泉　会員制リゾート　ホテルパストール

〒509-2202 岐阜県下呂市森1781
☎ 0576-24-2188 (9：00～18：00)
0576-24-2000 (上記時間外)

1泊2食料金（サ・税込）
※ご夕食は、和食会席またはフランス料理よりご選択ください。

	一般料金	会員料金	会員外料金
大人（中学生以上）	24,982円	17,475円	19,785円
	22,672円	15,165円	17,475円
	20,362円	12,855円	15,165円
子供（小学生）	13,860円	8,662円	10,972円
幼児（4歳以上）	12,705円	6,352円	8,662円

ご宿泊の3カ月前より受付。

◆ファミリーカード会員の方
ご利用者様より『カード会員』の旨を告げて申込み、チェックインの際にカード提示。

◆会員以外の方
ご利用者様より『"りつめい"を見て』と告げて申込み、チェックインの際に本紙を提示。

※特別期間（お盆・年末年始）は別途料金となりますので詳しくはホテルにお問い合わせください。

わが国有数の理工系教育研究拠点へ

2004年4月　情報理工学部開設、理工学部新学科設置

立命館大学副学長
川村 貞夫

BKC開設一〇周年の今春、五学科から成る情報理工学部が誕生し、理工学部には三学科が新設されます。

これにより立命館大学は、日本の私立大学では最大級の理工系学部を擁することになります。

この拡充の意義と、これに基づく取り組みについてご紹介します。

情報理工学部新設と理工学部拡充

二〇〇四年四月、本学の理工系教育が新しい飛躍を遂げます。

まず第一に、情報理工学部を新設します。本学にとって二つ目の理工系学部の誕生です。情報理工学部は、今までの理工学部情報学科を発展させ、教育研究のよりいっそうの高度化をめざします。学科は、情報システム学科、情報コミュニケーション学科、メディア情報学科、知能情報学科および生命情報学科の五つから成り、入学定員は合計六〇〇名。新たにバイオテクノロジー分野へ本格的に踏み出し、バイオインフォマティクスに取り組みます。

理工学部もリニューアルします。電子情報デザイン学科、マイクロ機械システム工学科、建築都市デザイン学科の、三つの学科を新設します。電子情報デザイン学科はLSIの設計・開発技術者の育成を目的とした、日本初の学科です。マイクロ機械システム工学科は、ナノサイズ（1ナノは一〇億分の一メートル）の科学技術を利用し、高付加価値マシンの研究・開発者を育成する学科です。建築都市デザイン学科は、建築物や都市全体のデザインを行う建築系の学科であり、文理総合の教育システムを重視します。これらの学科増設で、理工学部は現代的課題に応えたバラエティに富む一三学科を擁することになりました。

また、数理科学科に情報数理コースを設置し、定員を三〇名増員しました。土木工学科は、より現代的な課題に応えるべく、「都市システム工学科」としました。並行して物理科学科、応用化学科、化学生物工学科の改革にも取り組んでいます。

これらの改革により、二学部の入学定員は合計一七二五名、学生数約七千名となり、わが国の私立大学では最大級の理工系学部を持つ大学となります。二〇年前には六学科、入学定員五八〇名でしたから、三倍の規模に拡大したことになります。

世界的な研究水準が産み出した新しい学部・学科

今回新設した学部・学科は、本学の高い研究教育の成果によって産み出されたものです。ご存知のように、二〇〇二年度、二〇〇三年度において、本学では四つの二一世紀COEプログラムが採択され、世界的水準の研究教育拠点として文部科学省から認定を受けました。採択数は、私学では慶応、早稲田に次いで三番目に位置しています。

二一世紀COEプログラムで採択された研究教育テーマは、「放射光生命科学研究」「マイクロ・ナノサイエンス・集積化システム」「京都アート・エンタテインメント創成研究」および「文化遺産を核とした歴史都市の防災研究拠点」でした。これらは、今回新設した情報理工学部五学科、理工学部三学科の教学内容

と密接に関わっています。これは本学の理工系教育研究の方向性やこれまでの成果が、社会のニーズに合致していることを示すものです。社会からの高評価の一つの礎として、校友諸氏のご活躍も大きいと考えています。あらためてご奮闘に敬意を表します。

世界で通用する技術者の養成と国際貢献

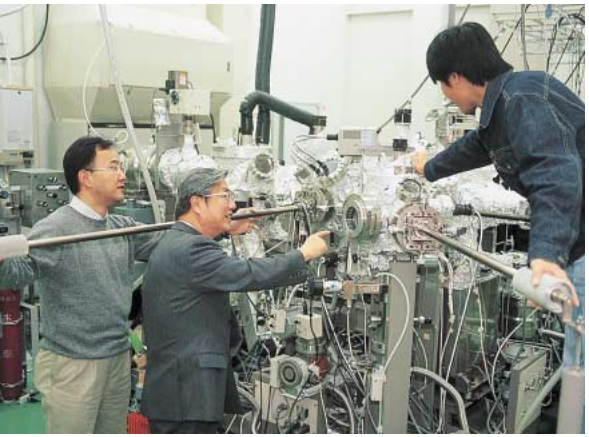
高等教育機関における技術者教育において、教育プログラムの国際標準化が進んでおり、わが国においても世界標準を志向する「日本技術者教育認定機構」（ＪＡＢＥＥ）が設立され、各大学の技術者教育プログラムの審査・認定を行っています。理工学部（工学系学科）および情報理工学部はＪＡＢＥＥ基準に準拠したカリキュラム編成に取り組んでおり、その卒業生は技術者教育の国際基準に合致した者、との認定を得ることを目指しています。特に情報理工学部では国際的な基準をクリアする系統履修をより強化し、本学では初めて、取得単位数が基準以下の場合は三回生に進めない制度を導入します。

若手研究者育成においては、国際的なステージでの研究成果発表がきわめて重要になっています。本学では大学院を中心として、学生の国際学会、国際会議等での発表を支援する取り組みも進めています。

また、わが国の理工系教育に対しては、特に発展途上国から強い期待が寄せられています。本学ではこの要望に応え、大学院理工学研究科に「国際産業工学特別コース」を開設し、アジア・太平洋地域からの留学生を多く受け入れています。このコースの授業は全て英語で行われ、二〇〇三年度には、国費留学生や国際協力機構（ＪＩＣＡ）の無償支援を受けた留学生四三名が学んでいます。出身国の将来を担う役割を持って本学で学んでいるこれら留学生は、熱心に研究教育に取り組んでいます。大学院修了時には母国語に加えて日英両言語をマスターし、三か国語を使いこなせるようになるなど、すぐれた人材輩出につながっています。留学生の研究教育に対する姿勢は、日本人学生にも好影響を与えています。

さらに情報理工学部では、外国人教員の積極的な任用、一部の専門科目の英語による開講など、新機軸を取り入れ、教育の国際化を当初より織り込んだカリキュラムや教育システムとしています。

研究面においては、前述の通り、二一世紀ＣＯＥプログラムの採択拠点を中心に、外国からの研究者を招聘・任用したり、国際的なシンポジウムを開催するなど、国際水準の研究をさらに推進していきます。



大学院・学部教育を通じた社会貢献の推進
―産官学連携と知財本部設置―

理工学部のＢＫＣ移転を契機に本格的に推進した事業に、「産官学連携」があります。外部資金で行う研究活動の拠点である研究センター群の設置や、ＳＲセンターを核とした施設・装置・設備の整備、およびリエゾン・オフィスを窓口とした社会との連携は、わが国における「産官学連携」のデファクトスタンダードとなりました。産官学連携事業は、社会からニーズとシーズを受け取ることを通じて本学の研究教育の高度化を推進することができ、同時に大学の知的資源を活用した社会貢献を行うことができます。また、財政面においても、研究資金の外部からの獲得につながりました。本学理工系分野では、二〇〇二年度においては約一四億円の外部資金を獲得するに至っています。

さらに、二〇〇三年度の特筆すべき成果のひとつに、本学が文部科学省の「大学知的財産本部整備事業」のモデル校として採択されたことがあげられます。私立大学では七校、東京地区以外では本学のみが採択されました。これにより、本学は、大学の知的財産の創出・保護・管理・活用を戦略的に担う拠点としての整備が進むことになります。昨秋より本格的に活動を開始した「知財本

問い合わせ先
理工学部　TEL:077-561-2625
情報理工学部　TEL:077-561-5202

部」は、すでに学内で約四〇件の特許出願案件を発掘しています。BKC内には地域振興整備公団が採択した「立命館大学連携型起業家育成施設事業」によるベンチャーインキュベーション施設の建設が決定したこともあり、今後は知的財産を活用した大学発ベンチャーの育成や、起業家の支援を行っていく計画です。

新たな高度職業人養成に向けて
―技術経営(MOT)大学院(仮称)開設準備―

大学院理工学研究科は、すでに博士前期課程五〇〇名の入学定員を持ち、学部・大学院、六年一貫で高度な技術者の育成を行っています。本学の理工系大学院は、情報理工学部の開設にともない、さらなる拡充を検討していますが、近年の新しい社会動向に対応して、技術経営＝MOT(management of technology)分野の教育にも注力しています。二〇〇五年度に「技術経営(MOT)大学院(仮称)」の開設を計画しています。この大学院では、技術のバックボーンを持つ学生、社会人に対して、製品開発マネジメント、プロジェクトマネジメント、知財マネジメント、ベンチャーインキュベーションなど、経営学分野の教育を付加することにより、技術を適切にマネジメントできる高度職業人養成を行う予定です。本学BKCの特徴を発揮したユニークな大学院となります。

理工学部・情報理工学部のさらなる発展にむけて
―校友のいっそうのご支援と回帰を―

科学技術の進歩はめざましいものがあり、本学の理工系教育研究においても、連続的な改革が求められています。改革の原動力や改革への社会的支持の源は、多くの校友のみなさんのご奮闘にもよるものです。このような観点から、校友のみなさんのいっそうのご支援をお願いするものです。

同時に、いったん社会に出られた校友のみなさんで、新たな専門知識修得の必要性や博士学位取得の希望など、専門技術のいっそうのブラッシュアップを求める方々、「第二創業」やベンチャーインキュベーションをご検討の方々、特許の有効活用をお考えの方々など、本学理工系の教育研究が再びお役に立つことがあるかも知れません。本学理工学部・情報理工学部および大学院を今一度ご活用いただくことを、ぜひご検討ください。立命館大学は、校友の知的な回帰を受け入れ、ともに歩む大学でありたいと願っています。

情報理工学部棟「クリエーション・コア」

2004年度　理工学部・情報理工学部学科内訳および入学定員

理工学部		数理科学科	95名
		物理科学科	80名
		応用化学科	95名
		化学生物工学科	80名
		電気電子工学科	100名
		電子光情報工学科	95名
	NEW	電子情報デザイン学科	95名
		機械工学科	100名
		ロボティクス学科	80名
	NEW	マイクロ機械システム工学科	80名
		都市システム工学科	85名
		環境システム工学科	70名
	NEW	建築都市デザイン学科	70名
		合　計	1125名
NEW 情報理工学部		情報システム学科	135名
		情報コミュニケーション学科	135名
		メディア情報学科	135名
		知能情報学科	135名
		生命情報学科	60名
		合　計	600名

CAMPUS TOPICS
DECEMBER.'03－FEBRUARY.'04

詳しくは立命館大学ＨＰで「Pick Up!」をご覧下さい。
http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/koho/headline/pickup/index-j.htm

「忠臣蔵」に関する最古の浮世絵をアート・リサーチセンターが公開

12月13日から1月16日まで、アート・リサーチセンターでは、展覧会「忠臣蔵と見立て」を開催しました。その中で、赤穂義士討入りの9年後に出版されたとみられる浮世絵が公開されました。この浮世絵は、21世紀COEプログラム「京都アート・エンタテインメント創成研究」のプロジェクトが収集している資料の中から発見されたもので、タイトルは「信田會稽夜討（しだかいけいのようち）」となっていますが、人物の特徴などから、宝永8年（1711年）に制作された忠臣蔵事件を描いた最古の作品、と判明したものです。

課外活動施設「アクトμ」「アスリートクラブハウス」竣工式を挙行

12月12日、びわこ・くさつキャンパスにおいて、標記2棟の竣工式が行われました。「アクトμ」はBKCにおける学生の文化・芸術活動のさらなる発展を目的に、現在のアクトβに代わる新たな音楽練習施設としてつくられたもので、ピアノブース・個人練習ブースを含む防音設備の整った2階建て施設。「アスリートクラブハウス」は、体育会クラブが文武両道を高く掲げつつプレイの質の向上をめざすための施設で、2階建て。1階にはアメリカンフットボール部やラグビー部などの更衣室、2階にはコーチ室やミーティングルームが設置されました。

「オムロン株式会社との連携プログラム」協定を締結

12月24日、衣笠キャンパスで、立命館大学とオムロン株式会社とが締結した連携プログラムの協定書を交換しました。立命館長田豊臣総長とオムロン株式会社市原達郎取締役副社長による協定書の交換に続いて、杉山進理工学部教授から、双方が国内でトップの技術と基盤を有しているMEMS研究領域で、次世代MEMS開発を核とした新産業創出と人材育成を推進していくことの説明がありました。

立命館アジア太平洋大学と日本政策投資銀行が国際協力活動学術研究交流協定を締結

1月16日、立命館アジア太平洋大学（APU）キャンパス内にて、日本政策投資銀行との国際協力活動学術研究交流協定の調印式が行われました。APUは、設立時から社会のさまざまな機関との協力の中で、人材育成機能の高度化、研究の発展、世界と地域への貢献を積極的に進めてきました。今回、日本政策投資銀行と協定を締結することにより、協力講座の実施や客員教授の招聘等、教学面において様々なご協力をいただくこととなりました。

立命館大学知的財産本部開設記念・ミニタウンミーティング「地域産業振興と知的財産戦略～大学の役割～」開催

1月20日、立命館大学知的財産本部と関西TLO株式会社の主催により、標記のミニタウンミーティングを開催しました。立命館大学は、2003年に文部科学省・大学知的財産本部整備事業のモデル校として選定され、「立命館大学知的財産本部」を同年10月1日に開設しています。今回の企画は、知的財産本部開設を記念するとともに、地域産業振興にかかわる方々の交流・協力体制の構築を目的として開催しました。

公開講演会「デジタルコンテンツと知的財産権」開催

1月31日、小松陽一郎氏（小松法律特許事務所所長、弁護士/弁理士、立命館大学法科大学院教授就任予定）をお招きし、知的財産をめぐる現代的課題を考える公開講演会「デジタルコンテンツと知的財産権」を衣笠キャンパスで開催しました。現在、立命館大学では、特許庁より委託を受け「平成15年度　大学における知的財産権研究プロジェクト」を実施しています。

2004年度入学試験実施

立命館大学・立命館アジア太平洋大学の2004年度入学試験が実施されました。試験は、2月2日から2月11日までの期間と3月6日の日程で行われ、今年も10万名を超える志願者が立命館にチャレンジしました。

SPORTS & EVENTS

スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

アメリカンフットボール部

甲子園ボウル（12月21日　甲子園球場）
優勝（2年連続4回目の学生日本一）
○61－6●　法政大学

ライスボウル（1月3日　東京ドーム）
優勝（2年連続2回目の日本一）
○ 28－16●　オンワードスカイラークス

QB高田君のキーププレイ

古武道部

第18回全日本学生古武道連盟演武大会
（12月7日　立命館大学）
団体優秀賞　受賞

重量挙部

第4回全日本大学対抗女子ウェイトリフティング
（12月5～6日　横浜市磯子スポーツセンター）
団体　2位
75kg級　個人2位　加藤博子（国関3）
69kg級　個人1位　斎藤里香（産社2）
63kg級　個人2位　平嶺　綾（産社1）
48kg級　個人1位　山神志乃（法2）

スキー部

第77回全日本学生スキー選手権大会
（1月12～16日　秋田県花輪スキー場）
女子1部回転競技　2位　三原優以（経済1）

スケート部

第72回全日本フィギュアスケート選手権大会
（12月25～26日　ビッグハット〔長野市若里多目的スポーツアリーナ〕）
個人8位　吉田晋也（経済3）

第76回日本学生氷上競技選手権大会
（1月6～8日　宇都宮市スケートセンター）
フィギュア部門　1部男子　団体5位
同　　個人3位　吉田晋也

ソフトテニス部

東西六大学王座決定戦
（12月6日　目黒区立体育館）
準優勝　●2－5○　明治大学（関東1位）

フェンシング部

第56回全日本選手権大会
（12月12～15日　蓮田市総合市民体育館）
女子サーブル団体　2位
松本明子（経済3）・青木美奈（文3）・菅井まゆみ（政策2）・松村香織（産社1）

レスリング部

天皇杯　全日本選手権大会
（12月22～23日　代々木第2体育館）
66kg級　2位　鈴木崇之（経営2）

レスリング鈴木君（青）

女子陸上競技部

第1回全日本大学女子選抜駅伝
（2月15日　埼玉県庁前－上尾運動公園）
優勝　全日本大学女子駅伝対校選手権との2冠

駅伝アンカー小中さん

男子陸上競技部

第80回東京箱根間往復大学駅伝競走
（1月2～3日　東京大手町発着）
稲井義幸（経営2）
日本学連選抜チーム6区走者として出場

附属高校のスポーツ

立命館宇治高校陸上部

第15回女子全国高校駅伝競走大会　4位
（12月21日、西京極陸上競技場発着）

立命館宇治高校硬式野球部

第76回選抜高校野球大会出場
（阪神甲子園球場　3月23日開会）

文化・芸術

問い合わせ先：学生センター
075-465-8141

囲碁研究部

第47回全日本大学囲碁選手権
（12月23～26日　日本棋院）
準優勝　2年連続　●2－3○東京大学

将棋研究会

第34回王座戦・全日本学生将棋団体対抗戦

定年退職教職員紹介

誌面の都合上、経歴等は大学教員のみ紹介します。敬称略。

教授

法学部教授
川上　勉（かわかみ　つとむ）
＊学生部次長、外国語教育センター所長等を歴任
＊専門／現代フランス文学
両大戦間のフランス文学およびレジスタンス文学の研究

経済学部教授
岡尾惠一（おかお　けいいち）
＊保健体育教室主任、教職・体育教務主任等を歴任
＊専門／陸上競技制度・技術史
近代陸上競技制度成立史・技術変遷史の研究

経済学部教授
松田利定（まつだ　としさだ）
＊言語コミュニケーションセンター副所長等を歴任
＊専門／アメリカ文学
ハーマン・メルヴィルにみる文学表現と実生活の関係の研究

産業社会学部教授
加藤園子（かとう　そのこ）
＊大学協議員等を歴任
＊専門／社会学、社会福祉
社会福祉労働論の研究、スウェーデン高齢者福祉政策の研究

政策科学部教授
山口　定（やまぐち　やすし）
＊政策科学部長、人文科学研究所長、大学協議員等を歴任
＊専門／政治学、西洋史
先進諸国における政治体制と政治過程の比較研究

文学部教授
高島　清（たかしま　きよし）
＊英米文学専攻主任等を歴任
＊専門／アメリカ文学
ポウ、ホーソーン、メルヴィル等の人間観を中心とするアメリカ文学の研究

文学部教授
伴　利昭（ばん　としあき）
＊大学協議員、日本文学専攻主任等を歴任
＊専門／国文学
時代背景と関連した王朝物語文学の研究

理工学部教授
秋下貞夫（あきした　さだお）
＊理工学部機械システム系学系長等を歴任
＊専門／機械力学・制御工学、航空宇宙工学、知能機械学・機械システム
新しい航空交通管制システムや航空機騒音の能動制御の研究

理工学部教授
岩崎　博（いわさき　ひろし）
＊SRセンター長等を歴任
＊専門／固体物性・回折結晶学・放射光科学
放射光による固体の構造相転移と乱れの研究、新しい放射光利用技術の開発

理工学部教授
近藤紘一（こんどう　こういち）
＊理工学部応用化学系学系長等を歴任
＊専門／高分子合成、有機合成
波長変換、光造形、光三次元記録のもとになる有機非線形光学材料や新しい電子、正孔輸送能をもつディスコチック液晶および生分解性高分子の合成の研究

理工学部教授
谷利陸平（たにがか　りくへい）
＊理工学部応用化学系学系長等を歴任
＊専門／有機化学、有機合成化学
ヘテロ原子をもつ有機化合物の特性を利用した有用な有機合成手段の開発、生物体を用いてのキラルな天然化合物の合成の研究

理工学部教授
福本武明（ふくもと　たけあき）
＊理工学部建設環境系学系長等を歴任
＊専門／土質力学、地盤工学
地盤材料の力学特性の研究

助教授

理工学部助教授
原見忠彦（はらみ　ただひこ）
＊専門／光物性
原子レベルでの物質構造や電子の振舞いの研究

教諭

立命館中学校・高等学校教諭
貴島嗣夫（きしま　つぐお）

事務職員

業務監査室
高鍬潤一（たかくわ　じゅんいち）

総務課
林　政子（はやし　まさこ）

人事課
松田八代子（まつだ　やよこ）

職員課
三木理枝（みき　りえ）

職員課
伊藤澄子（いとう　すみこ）

立命館百年史編纂室
伊藤　昇（いとう　のぼる）

保健センター
坂田典子（さかた　のりこ）

財務部
恩田良昭（おんだ　よしあき）

管理課
堀内康宏（ほりうち　やすひろ）

管理課
森川　清（もりかわ　きよし）

法学部事務室
増田弘子（ますだ　ひろこ）

教育研究事業部
小畑力人（おばた　りきと）

キャリアセンター衣笠
廣近直樹（ひろちか　なおき）

衣笠メディア・サービス課
石飛幸子（いしとび　ゆきこ）

BKC教務センター・理工学部
中井喜久子（なかい　きくこ）

BKC研究推進課
奥西和子（おくにし　かずこ）

SPORTS & EVENT

（12月23～25日　四日市市文化会館）
団体優勝　2年連続

第34回全日本学生将棋十傑戦〔学生王将戦〕
（12月26～27日　四日市市文化会館）
優勝　加藤幸男（理工4）学生名人との2冠

第24回学生女流名人戦
（12月26～27日　四日市市文化会館）
優勝　石内奈々絵（国関2）2年連続

第18回全国オール学生個人戦
（1月10～11日　毎日新聞ホール・将棋会館）
優勝　加藤幸男
学生名人・学生王座との3冠

第16回アマチュア将棋団体日本選手権
（2月14日　リコー大森会館）
準優勝
●2.5－4.5○　日本レストランシステム

日本選手権での加藤君

珠算部（学芸総部任意団体）

全国珠算競技大会
（12月21日　浦和東武ホテル）
一般の部　団体優勝
個人の部　稲田さち（経営3）　3位
　　木下卓巳（経営1）　4位

バトントワリング部（学芸総部任意団体）

第31回マーチングバンド・バトントワリング全国大会（1月18日　日本武道館）
バトントワリング部門
グランプリ・内閣総理大臣杯（第1位）受賞

編　集　室　か　ら

＊この春、桜の花と共に、「赤き血潮、胸に満ちて…」の校歌に送られて学び舎を巣立つ新校友は、APU一期生を含め約7500名である。学園の中学・高校の卒業生を合わせると9000名になる。それぞれの進路は全国に、いや、今や全世界に広がっている。
立命館校友は世界中で活躍し、そしてどこかで出会う。共に学んだ学園生活を語り合う時、友情と連帯が深まる。今も各地で、世界の主要都市でも同窓生が集っている。話題は、ライスボウルの連覇、大学女子駅伝優勝、そして個々の活動だ。卒業生は皆「世界に一つだけの花」だから、only oneをめざして頑張ろう。何処で生きようと積極的に校友と出会う機会を。　（Kaz）

＊以前勤務した時から5年間の空白があったが、BKC最寄の南草津駅の変貌ぶりにはビックリ。当時は、あちこちに湿地帯がみられ、駅前には申し訳程度の小さなビル１つだけだったのが、今や、多くの瀟洒なマンションやコミュニティが賑やかに駅を取り囲む。BKC開設以来10年になるが、今春新たに「情報理工学部」が誕生し計4学部となり、学生数も18,000人を超える。昨年11月、立命館と草津市は“地域の発展と人材の育成に寄与する”として「連携協力に関する協定」を締結した。協定内容の展開のために学生にエネルギーを発揮してもらうにはどうしたら良いか、大学にも、自治体にも大いに知恵を絞ってもらう必要がある。ただ、通学している学生の姿だけをぼんやり眺めていても能がない。　（保）

＊先日、近くへ行ったのでBKCを訪ねた。二輪車置場の広さと、止めてある台数の多さに驚くとともに、キャンパスの活気を頼もしく感じた。学生諸君のご活躍と学園のますますの発展を祈る。
１月16日、年頭の編集会議において、尾﨑委員長をはじめ、出席者一同がそれぞれ誌面の充実に向けて、いかに読んでもらえる内容にするかということについて、日頃考えていることを話し合った。校友読者の方々のご意見を聞きながら、一同、今年もがんばる決意を固めた。　（覚）

りつめい No.216／年4回発行
発行所／立命館大学校友会
編集人／尾﨑　敬則
発行人／河原　四郎
〒603-8577　京都市北区等持院北町56-1
Tel. 075(465)8120・8124
Fax.075(465)8125
URL：http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/
E-mail：alumni@st.ritsumei.ac.jp

I N F O R M A T I O N

校友会・グループ インフォメーション

校友会・グループ	日 時	会 場	問い合わせ先	
上中町校友会	3/27(土)15：00	庄司旅館	中村昭一郎	0770(62)0422
バトミントン部創部55周年記念式典	3/28(日)12：00	京都全日空ホテル	永井　博	075(332)5540
奈良若草会設立総会	3/28(日)16：00	三井ガーデンホテル奈良	岩井　將	090(6974)6113
宮崎県校友会交流懇親会	4/15(木)18：30	ホテルメリージュ	南　英輝	0985(25)9884
Rits Greaters Society	4/23(金)18：30	東京ドームホテル	東京オフィス	03(5204)8611
濱崎先生を囲んでの集い	5/16(日)10：00	花園会館	橋本弘之	075(491)4392
立命京都観光の会総会	6/ 8(火)18：00	京都ブライトンホテル	西村満夫	075(255)3224
応化会20周年記念式典	6/19(土)15：00	京都タワーホテル	応用化学系事務室	077(561)2658
富山県校友会総会	6/26(土)15：30	名鉄トヤマホテル	吉野久幸	076(431)2211
香川県校友会総会	7/ 3(土)16：00	ホテルニューフロンティア	酒井成徳	087(886)9527
神奈川県校友会総会	7/ 4(日)14：00	崎陽軒本店	長谷川貞栄	045(929)6440
立命館大学校友大会	10/30(土)17：00	ホテルグランヴィア京都	校友会事務局	075(465)8120

校友消息（判明分）

受　章

谷岡武雄氏
（'44法文・元立命館総長）
フランス共和国「教育功労章コマンドール」

就　任

木村幸雄氏（'63経済）
（株）ユアサコーポレーション
副社長（4月1日付）

村上健治氏（'70産社）
大和ハウス工業（株）社長
（4月1日付）

訃　報

村上二郎氏（'41大専経）
元大阪校友会会長、名誉館友。
12月21日ご逝去。88歳。

小原　誠氏
（本学名誉教授・理工学部）
12月18日ご逝去。94歳。

山下健次氏
（本学名誉教授・元法学部長）
12月16日ご逝去。73歳。

新人歓迎会のお知らせ

●関東新人歓迎会

日　　時：5月29日（土）13：00
会　　場：有明パナソニックセンター1階ホール
　　東京都江東区有明2-5-18
最 寄 駅：ゆりかもめ 有明駅/りんかい線 国際展示場駅
会　　費：新卒2,000円　平成卒3,000円　昭和卒4,000円
問合せ先：東京オフィス　Tel. 03-5204-8611
申込サイト：http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/shibu/tokyo/
なお、本企画は首都圏各校友会の共催です。

●大阪地区新人歓迎会

日　　時：6月19日（土）14：00
会　　場：大阪ケッスルホテル3階「錦城閣」
　　大阪市中央区天満橋京町1-1
最 寄 駅：地下鉄谷町線・京阪電鉄 天満橋駅
問合せ先：大阪オフィス　Tel. 06-6201-3610

●京都春風会新人歓迎会

日　　時：6月26日（土）時間未定
会　　場：衣笠キャンパス中川会館4階校友ロビー
問合せ先：校友会事務局　Tel. 075-465-8120
参照サイト：http://www.rsbk.org/

BOOKS

校友会へご恵贈下さいました本の中から紹介させていただいております。

◆辛 榮吉氏（'59文）著
『渦巻く海峡』
新世＊自費出版

◆湯浅俊彦氏（'61法）他著
『京都に蠢く懲りない面々 淫靡な実力者たち』
講談社＋α文庫＊780円

◆西川 力氏（'76文）訳
『シュツットガルトのグリーンネットワーク－住宅の庭から都市の緑化まで－』
マルモ出版＊7143円

◆大淵幸治氏('78文）取材・構成
『京町屋づくり千年の知恵』
祥伝社＊1600円

◆山岡祐子氏（'83経済）編集
『「植治の庭」を歩いてみませんか』
白川書院＊2000円

◆森木田一毅氏（'85法）他著
『Q&Aエキスパート改正商法　登記・会計・税務』
日本加除出版＊3400円

◆小田優子氏（'97法）著
『女性のための自己破産せずに借金を返す方法』
PHP研究所＊1300円

価格は本体価格です。

2004年度モニター募集

『りつめい』各号内容についてのアンケート調査にご協力いただきたいと思います。
期間は2004年7月号（No.217）から1年間。
期間終了後粗品を進呈いたします。

葉書、ファクシミリ、電子メールのいずれかに、住所・氏名・卒年・学部・職業を明記の上、校友会事務局編集係までご応募ください。連絡先は左欄をご覧ください。

締　切：5月10日（月）事務局必着